

ハッピー通信

50

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」「ハッピーマイホーム」の現オーナー様、もしくは検討中のオーナー様に、コンサルティング事業部の高橋がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。

オーナーインタビュー 91

関東在住



K 様

高橋：本日は、関東地方にお住まいで、いわき市内に多数の駐車場や貸地を所有されているK様にインタビューをさせていただきます。K様、現在所有されている土地は相続されたのですか？

K 様：その通りです。主人は全国に支店を持つ会社に勤めていました。結婚後、両親の土地を相続することになり、兄弟姉妹はいなかったため、一人で相続しました。

高橋：相続税は大変ではなかったですか？

K 様：手続きは大変でしたが、相続税については両親が生前に準備してくれていました。

高橋：賢明なご両親ですね。

相続財産の約 40%は土地や建物が占めることが多く、相続税を支払う現金がなくてご苦労される方も少なくありません。

K 様：所有してからは、建築工事会社の営業の方々が頻繁に訪ねてこられて大変でした。相続して 30 年以上経った今でも連絡があります。

高橋：一等地ですからね。今後も営業が続くかと思いますが、どのようにお考えですか？

K 様：今後のことは二人の息子が考えれば良いと思っています。

高橋：確かに、30 年前の相続時とは、相続税の金額や納付方法も大きく変わっています。現在では物納もほとんど聞かれません。

相続税対策として、賃貸住宅の建築は有効な手段の一つです。

入居率 98%を誇る「ハッピーマンション」のご検討もぜひお願いしたいと思います。

K様のように相続税対策が必要な方は多数いらっしゃいます。

「国が持っていけばいい」と冗談交じりに話される方もいますが、30年前と比べて世の中の状況、家族構成、そして個人の考え方は変わっています。

ご家族で話し合いを重ねていくことが、ますます大切な時代になってきたと感じます。

インタビューより一言

コンサルティング事業部
課長

タカハシ ミツリ

高橋 光則



こんにちは
高橋
です



こんにちは、コンサルティング事業部の高橋です。
先日、テレビでこの時期にカーリングの試合を見て驚きました。
今やさまざまなスポーツがエンターテインメントとしての側面を強めています。

選手たちはスターのように扱われています。
昔と違うのはインタビューでの発言の内容です。
選手たちがしっかりと自分の考えを伝えられるのは、文武両道を重視し、教育関係者や地域の指導者の努力の成果であると思っています。

